

議案番号	74	令和8年度大山町一般会計補正予算(第2号)
令和8年度大山町一般会計補正予算（第2号）の概要について		
今回補正額		76,471 千円
(財源内訳)		
国・県支出金		8,829 千円
地方債		55,100 千円
その他		7,842 千円
一般財源		4,700 千円
補正後の額		12,797,601 千円
(参考)		
昨年度6月末現在予算額		12,779,924 千円
(前年度比		17,677 千円の増)
補正計上された主な事業等		
<p>●大山西小学校電気設備更新工事 15,631千円(要求課 幼児・学校教育課)</p> <p>○キュービクル更新工事 13,530千円 高圧受変電設備(キュービクル)が設置から20年以上経過しており、電気工作物点検結果で「不適合」の判定となった。漏電による感電や火災の恐れがあるという指摘により、キュービクルの更新工事を行う。</p> <p>○ポンプ制御盤更新工事 2,101千円 プール側と職員室側の2カ所にポンプ制御盤が設置されている。点検結果により、経年劣化が原因で腐食及び回線の絶縁不良が生じているためにポンプ盤の取替工事を行う。</p>		
<p>●DMO事業負担金 7,200千円(要求課 商工観光課)</p> <p>DMOである大山観光局が、大山町における旅行消費額や宿泊数増に向けて実施する、ツアー造成事業や観光データ収集事業、観光事業者向けセミナーについての事業費を負担するとともに、将来的な町派遣職員の引き揚げを見据え、計画的な観光局正規職員の採用による組織の安定運営を支援する。</p>		
<p>●情報通信事業民設化支援業務委託料 4,950千円(要求課 総務課)</p> <p>現在直営で行っている情報通信事業の民間移譲(民設化)に向けて、民設化方法の検討、公募することになった場合の仕様書や評価表の内容検討や作成等、専門的知見を有する事業者にも業務委託するための経費。</p>		